

シンラの旅-10 「ニホンオオカミの聖地、秩父へ」 絶滅危惧種再生へ、開ける道



エッセイ
芦原 伸



SINRA

CONTENTS

各見出しリンク

▶ **SINRA-1 2014.9**
「小豆島」 オリーブカントリー

▶ **SINRA-2 2014.11**
「秋田」 マタギの里へ

▶ **SINRA-3 2015.1**
「富岡」 富岡製糸場の歩き方

▶ **SINRA-4 2015.3**
「北海道」 北海道ワイン紀行

▶ **SINRA-5 2015.5**
「小笠原」 黒潮の孤島鶴来島漂流

▶ **SINRA-6 2015.7**
「大台ヶ原」 熊野古道をいく

▶ **SINRA-7 2015.9**
「信州木曾谷」 森林鉄道が消えた日

▶ **SINRA-8 2015.11**
「霊峰月山」 死と再生の小宇宙

▶ **SINRA-9 2016.1**
「丹後」 古代王国と、絹をめぐる道

▶ **SINRA-10 2015.3**
「秩父」 絶滅危惧種再生へ、開ける道

▶ **SINRA-11 2016.5**
「佐賀」 大海を越えた胡蝶の夢

▶ **SINRA-12 2016.7**
「津軽」 ブラキストン幻の海

▶ **SINRA-13 2016.9**
「五島列島」 クジラたちの海

▶ **SINRA-14 2016.11**
「飯田」 天空の里、遠山郷

▶ **SINRA-15 2017.1**
「北海道」 ジンギスカンをめぐる冒険

▶ **SINRA-16 2017.3**
「宮城県」 猫たちの聖地

▶ **SINRA-17 2017.5**
「京都」 神が授けた、いのちの水

▶ **SINRA-18 2017.7**
「熊楠」 の森をめぐる冒険

▶ **SINRA-19 2017.9**
「カナダ」 極北の大地に生命が燃える

▶ **SINRA-20 2017.11**
「宮崎」 神楽仮面の謎を探る

ご購入

 Fujisan.co.jp
雑誌がオンライン書店

ご購入

 amazon.co.jp
プライム



秩父地方には御神犬像を祀る神社が多数存在し、それぞれ形が異なる。中には子オオカミと一緒に立つ珍しい御神犬像の姿も見られる（秩父市三峰・三峯神社）

ニホンオオカミの 聖地、秩父へ

かつて九州、四国、本州と広域に渡り日本の山々に棲息していたニホンオオカミは、さまざまな災厄から人々や農地を守る神として崇められてきた。そんな“オオカミ信仰”が、埼玉県秩父地方には今もなお色濃く残されているという。オオカミ信仰とはどのようなものなのか。オオカミを御眷属として祀る秩父地方の神社を訪れ、その答えを探る。

文◎菅原 伸(ノンフィクション作家)、撮影/戸川 覚



秩父・ オオカミの像を巡る

秩父地方には御神犬像(オオカミの形をした狛犬)を祀る神社が数多く存在する。同じオオカミでも、場所によって全く異なる形をしているのが特徴だ。秩父地方の神社10カ所からさまざまな御神犬像を紹介する。

1 釜山神社
(大里郡寄居町)



2 葦山神社
(秩父郡皆野町)



3 岩根神社
(秩父郡長瀨町)



4 武甲山御嶽神社一の鳥居
(秩父郡横瀬町)



5 三峯神社
(秩父市三峰)



6 両神御嶽神社
(秩父郡小鹿野町)



7 樟神社
(秩父市下吉田)



8 若御子神社
(秩父市荒川上田野)



9 猪狩神社
(秩父市荒川蟹川)



10 八日見山龍頭神社
(秩父郡小鹿野町)



送りオオカミに出会う

1996(平成8)年のアメリカ、イエローストーン公園の話からはじめよう。

イエローストーンは世界で初の国立公園で、公園というよりは一つの国と言ったほうが正しい。面積は8980キロ平方メートルあり、四国の半分あまり。ここでは希少な野生動物が保護され、植生を含め、生物の多様性が保たれている。

この年、筆者はイエローストーンに鱒釣りに行った。マディソン川、ギャラティン川をはじめ、イエローストーンは当時、いや今も鱒釣りのメッカなのだ。

公園に隣接したウエスト・イエローストーン町のモーターに滞在していた。ある日のこと、地図を見て、インディアン・クリークという名に惹かれ、ひとり公園内の溪流に分け入った。クリークは高層湿原をゆるやかに流れ、日本でいえば日光の湯川に似て野趣に富んでいた。岩影や荒瀬のポイントごとにブルック(イワナの種)が毛鉤に飛び出し、大満足の一日だった。途中、対岸で水を飲むエルク(アメリカカ鹿)に突然遭遇したりして、胆をつぶした。

夕方になり、納竿して車を置いた広場に戻る途中、林の中で犬のよう

な動物に遭遇した。一瞬、オオカミ!

だと直感した。日本犬よりは大きく、痩せており、毛色は茶褐色。襲われるか、と思ったが、相手はこちらを見て、意外におっとりとしている。こういう時の常識として、見知らぬ振りをして、眼を合わさず、動物を無視して通り過ぎ、山道を急いだ。ところが、そのオオカミらしき動物は、襲撃の気配はなく、後ろからトコトコとついてきて、離れなかったのだ。駐車場まで無事たどり着いたが、その動物は筆者が車に着くまで、ゲートで見送っていた。

これが筆者とオオカミらしき動物との出会いであった。この時、おりしもイエローストーンでは絶滅したオオカミをカナダから移入し、公園内に再導入していた。公園管理局と州は、増え続けるアカシカの獣害から植生を守るため、ハイイロオオカミを導入していたのだ。

遭遇したのは、オオカミではなく実はコヨーテだった。というのは、滞在していたモーターのオーナー夫婦にその「事件」を話すと、「それはコヨーテだよ」と断言し、以後、夕方になると、

「ほら、コヨーテが啼いているよ」
時折り部屋のドアをノックして教えてくれたからだ。

秩父

観光・催し

くらしの情報

まちの施設

自然派ワインの先駆け
秩父ワイン
 からだに良いものをつくる

秩父ワインは1935(昭和10)年創業の老舗ワイナリー。当時、赤玉ポートワインのような甘味果実酒が主流だった頃から本場フランスの味に近い、渋みのあるワインづくりを行ってきた。「からだに良いものを」という思いから生まれた自然派ワインは、初代浅見源作氏の名をとり「源作ワイン」としていまも受け継がれている。晴天が多く、昼夜の寒暖差が大きい秩父はブドウの隠れた名産地。秩父の風と土によって旨味が凝縮されたワインを楽しもう。

秩父郡小鹿野町両神薄41
 ☎ 0494-79-0629
 9:00~17:00(ワイナリー見学は10:00~14:00/要予約)
 年末年始



上/「源作印」が目印の秩父ワイン 左上/創始者の孫娘・島田カツさん 右下/直売所併設の工房

秩父郡小鹿野町三山385-1 ☎ 0494-75-2050

剥製にして供養する
高橋はくせい
専門店
 実用性にも優れている

秩父郡小鹿野町の国道299号沿いに「高橋はくせい専門店」がある。店主の高橋章さん(63)は創業から100年以上続く剥製屋の3代目。鳥類・獣類を剥製にし、標本や装飾品として店で取り扱っている。高橋さんは「昔は動物が好きだったので剥製なんてとんでもないと思っていただけ、それが供養に活かせるかもしれないと考えようになった」と話す。店内に並ぶ剥製は、どれもきめが細かく見事な仕上がりで、実用性にも優れているのが特徴だ。



左/日本生態剥製技術会代表の高橋章さん 右/タヌキの腰当てやシカの角などの剥製商品を販売している



3Dマップ制作/占部 浩

両神荘の秩父バイキング。豆乳茶碗蒸し、小鹿野の野ジカ陶板焼き、しゃくし菜とキノコのグラタン、イワナの姿造り(別料金800円)など秩父の味覚が楽しめる



秩父郡小鹿野町両神小森707
 ☎ 0494-79-1221
 9180円(税込/1泊2食付き)+150円(入湯税)

山と溪谷の世界へようこそ
ぶらり秩父
寄り道
ガイド
 秩父地方を訪れたらぜひ寄り道したいおすすめのスポットを厳選紹介。秩父の味覚と風土を堪能しよう!



美肌の湯でツルツルに
国民宿舎両神荘
 おすすめは、秩父バイキング♪
 両神荘は両神山の麓にある温泉付国民宿舎。温泉は天然温泉かけ流し。P且値9.2の強アルカリ性のぬるぬるした泉質は「美肌の湯」として人気が高い。日替わりで檜風呂と岩風呂に入浴でき、露天風呂では近くを流れる小森川のせせらぎを聞きながら秩父の自然をゆったり楽しむことができる。料理は、秩父の郷土料理を味わう「秩父バイキング」。地元こんにゃくの味噌おでん、秩父発祥のしゃくし菜、伝統料理の呉汁など、地元の味覚を堪能しよう。